

第47回 愛知県障害者技能競技大会 縫製（知的障害）競技課題

課題 エプロン製作

1 競技時間：3時間 最大延長時間：30分（但し10点減点）

2 注意事項

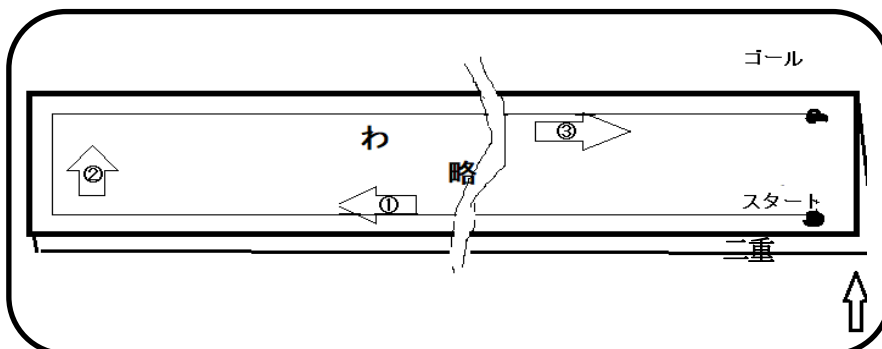


- ① エプロンは工業用ミシン、家庭用ミシンのどちらでも製作可能。
どちらを使用するかを申し込み時、使用補助具に「〇〇用ミシン使用」と記載する。
持ち込みの場合は、「ミシン持ち込み」と記載する。
- ② 各パーツの枚数や大きさを測定し、確認する。
- ③ 各パーツの布地にアイロンをかけて地直しをし、表裏を区別して正確に組み立てる。
- ④ ポケットの印（穴）はあるが、必ず自分で実測（中心から8cm）する。
- ⑤ ミシン目の調整は、各自で確認する。（針目は3cmに16針目程度がめあす）
ミシンで不具合があった場合は、すぐに手を挙げ知らせる。
- ⑥ 支給材料は、材料に欠陥のない限り、再支給しない。
- ⑦ 競技中、工具類の貸し借りは禁止する。
- ⑧ 競技を終了する時は、手をあげ、競技役員に「終わりました。」と伝える。

3 製作手順

(1) ひも作り

- ① 長辺2か所と短辺1か所を1cmの縫い代で折り、成形する。
(折り方は参考資料参照)
- ② ひものステッチは、2重になっているところからスタートする。コの字に端ミシン（端から0.2cm）とする。
- ③ 方向を変える時は、必ずミシン針をさしてから方向を変える。

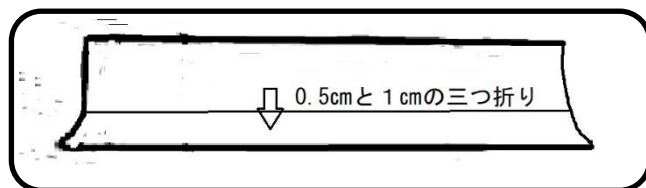


※でき上がり寸法、
肩ひも2cmと
腰ひも4cmを確認する。

(2) 見返し^{みかえ}しつくり

見返し^{みかえ}のすそ^{ぶぶん}の部分^みを0.5cmと1cmに三つ折^おりをし、端^{はし}ミシンをする。

※三つ折^みり幅^おは1cmあるか確認^{はば}する。



(3) ポケット^つつくりと付け

- ① ポケット口^{ぐち}を1cmと2cmの三つ折^みりをし、端^{はし}ミシンをする。

※三つ折^みり幅^おは2cmあるか確認^{はば}する。

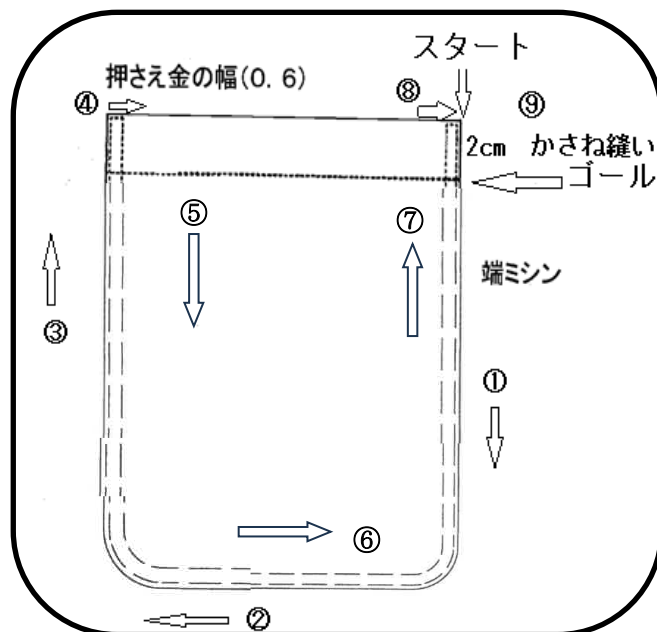
- ② ポケットは、ぬいしろ^おを1cmに折^おって形^{かたち}を整^{ととの}える。ゆがみ^{すんぼう}がなく、寸法^{さんぽう}が

合^あっているか確認^{かくにん}する。

- ③ ポケットの位置^いは、エプロン本体^{ほんたい}の中心^{ちゅうしん}から8cmのところに（穴^{あな}があるが各自^{かくじ}確認^{かくにん}する）ポケットの角^{かど}がくるように置^おく。

中心^{ちゅうしん}から8cm（左右^{さゆう}のポケット間^{かん}16cm）

を確認^{かくにん}し、固定^{こてい}する。上^{うへ}の図^ずを参^{さん}照^{しやう}にステッチする。

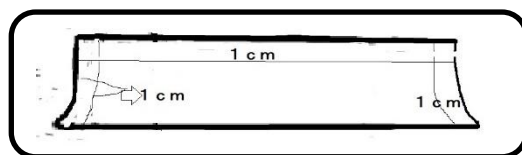


(4) すそ縫^ぬい

1cmと1.5cmの三つ折^みりをし、端^{はし}ミシンをする。※三つ折^みり幅^お1.5cmあるか確認^{かくにん}する。

(5) 見返し^{みかえ}しつけと袖ぐり^{そで}

- ① 見返し^{みかえ}に上^{うへ}、左右^{さゆう}の三方^{さんぽう}に1cmの印^{いん}をつける。



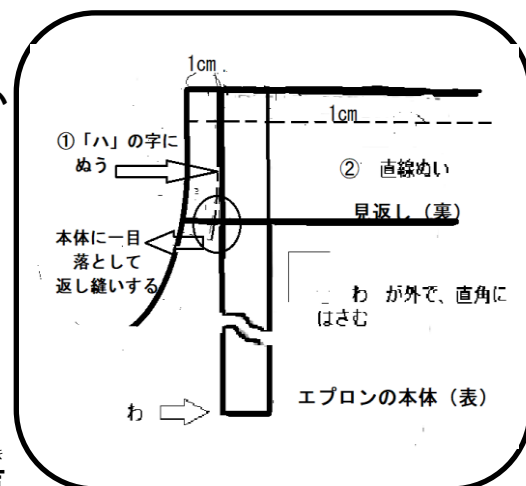
- ② エプロン本体^{ほんたい}の表^{おもて}に見返し^{みかえ}は表^{おもて}を下^{した}に中表^{なかつ}にし、見返し^{みかえ}の左右^{さゆう}「ハ」の字^じに縫^ぬう。見返し^{みかえ}のすそ^{すそ}から本体^{ほんたい}に一針^{ひとはり}ミシン目^めを落^おとし、返し縫^{かえぬ}いをする。

- ③ 肩ひも^{かた}を「外わ^{そと}」にし、直角^{ちやうかく}になるようにまっすぐにはさむ。

- ④ 上部^{じやうぶ}1cmを直線^{ちやくせん}でミシンをかける。

- ⑤ ④のミシン目^めに合わせてエプロン本体^{ほんたい}側^{がわ}に折^おり、蒸気^{じやうき}

アイロンをかける。（角^{かど}が厚^{あつ}いときは、ぬいしろ^{かど}の角^きを切^おって落^つち着^つくようにする。）

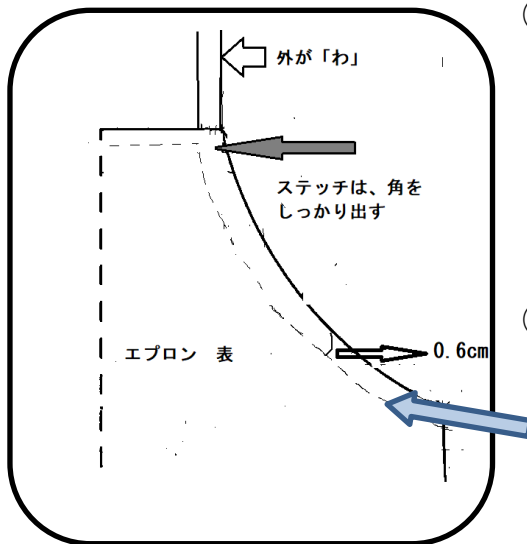
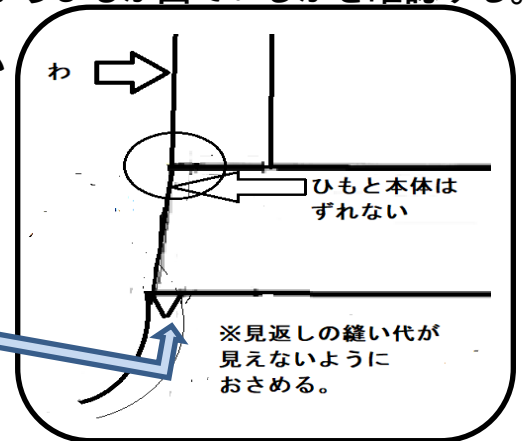


⑥ ⑤をひっくり返し、角を出す。右の図のように端からひもが出ているかを確認する。

表 から見返しがみえないように三角に出ている部分を折り込み、アイロンで仕上げる。

※図のように見返しの端から出ている部分は、見返しに折り込むかカットする。

見返しの幅が4 cmあるか確認する。



⑥ 袖ぐりは、伸び止めテープのところ（ロックミシンのところ）を軽くつまみ伸ばしてなじませ、1 cmに折る。

※テープのところを強くつまみ伸ばすと、伸び過ぎとなるので注意。

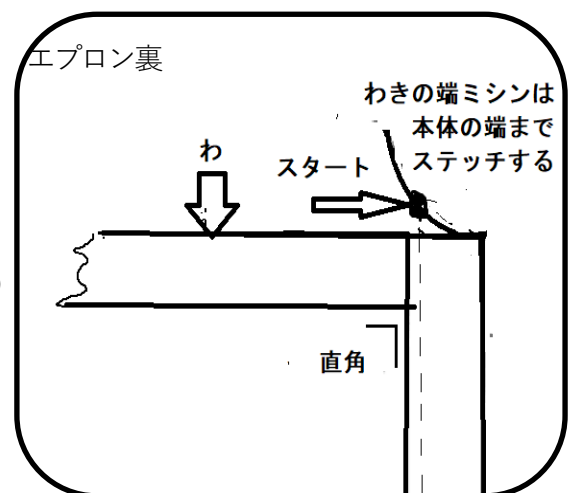
⑦ エプロン本体の表 から、袖ぐりと見返しに左の図のように、ミシンの押さえ幅（0.6 cm）でステッチをする。

(6) 脇の始末

① 1 cmと1.5 cmの三つ折りをする。

※三つ折り幅は1.5 cmあるか確認する。

② 腰ひもを上「わ」がくるように、腰ひもの角を脇の角に合わせてはさみ込み、端ミシンでステッチする。



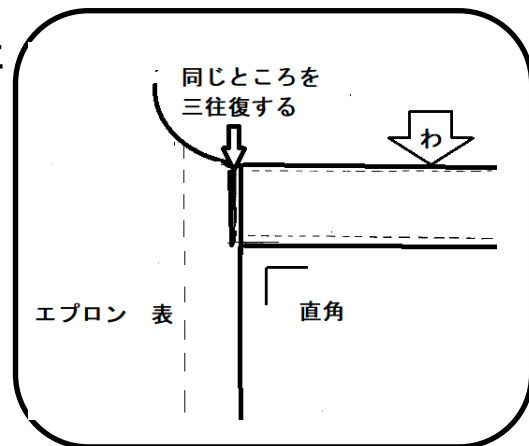
※ステッチは三つ折りの上、本体の端より延長したところから縫う。

(7) ひも付け

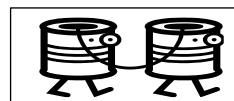
ひもを ^{おもて}表に折り曲げ、待ち針を打ち、ひもの端に ^{はし}3往復押さえステッチ（端ミシン）をする。

※押さえステッチは、重ねて同じところを縫う。

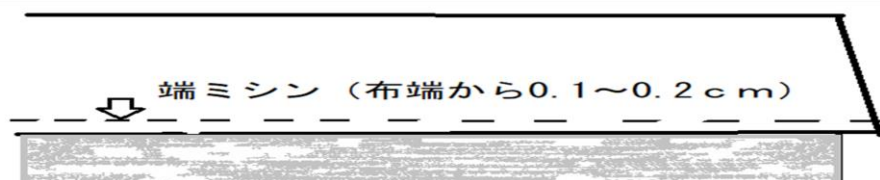
^{つか}お疲れさまでした。



<気を付けましょう>



・端ミシンは布の端から 0.1～0.2 cm のところを、まっすぐ正確に縫う。



- ・返し縫いは、きちんと重ねる。
- ・縫い直しはなるべく行わない。ほどくと布地が傷み汚くなってしまう。
- ・一工程終わったらアイロンがけをし、必要のない糸は始末する。
- ・糸くずなどのごみは、ごみ入れを持参して入れ、整理整頓を心掛ける。
- ・道具は、安全に配慮した場所に置く。
- ・ミシンとアイロンの電源スイッチの管理も行う。
- ・落ち着いて作業に集中する。時間は自分で計画的に配分する。
- ・競技時間を有効に使い、見直しやアイロンがけをしっかりと行う。

※ 競技時間内は、時間による採点はない

ほうせいきょうぎしやうようぐいちらんひよう
縫製競技使用用具一覧表

1 競技者が持参するもの

持参する品名	規 格	数 量	備 考
縫製用具類一式	適 宜	適 宜	裁ばさみ、小ばさみ、自打ち ものさし、チャコ、ステッチ定規 他 必要な補助具等

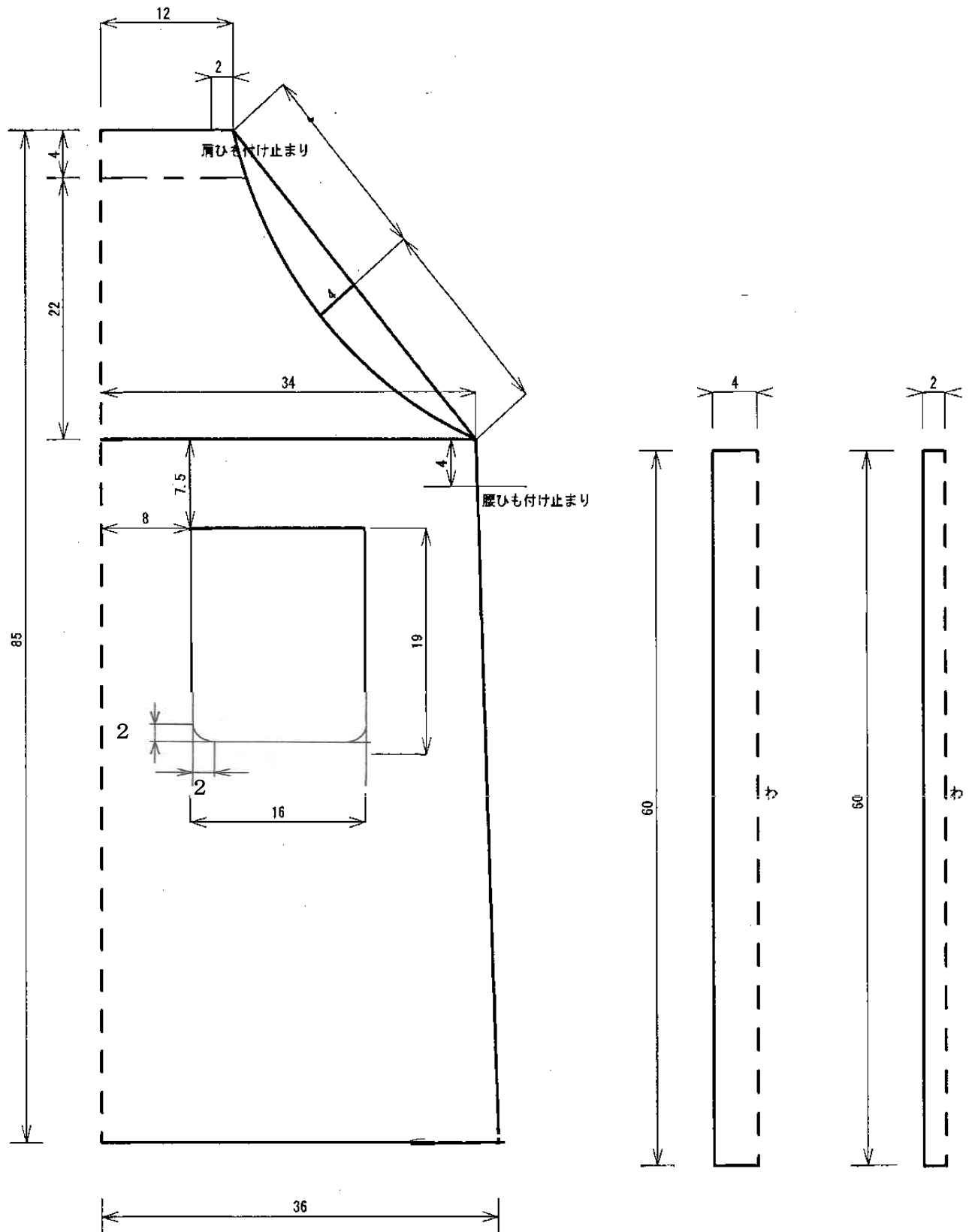
2 競技場に準備してあるもの

	品 名	規 格	数 量	備 考
1	作業台		1 台	
2	ミシン	・職業用 自動 糸切りつきミシン ・家庭用電子ミシン	どちらか 1 台	
3	ボビンケース		1 個	各ミシンに合った物
4	ボビン		2 個	同上 (下糸巻き済み)
5	ミシン針	# 11		同上
6	アイロン	家庭用 スチームアイロン	1 台	(水分補充用ペットボトル)
7	アイロン用敷布		1 枚	
8	おもてじ 表地	めん 綿ブロード	1 枚分	裁断済み 袖ぐりバイアステープ ロック済み
9	ミシン糸	かせんいと 化繊糸 #60	1 巻	

注 1 使い慣れたミシン、アイロンを使用希望の方は持込み可能です。

なお、ミシン持ち込みの場合はボビン、ボビンケース、ミシン針は
各自で用意下さい。

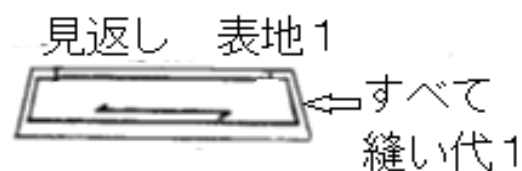
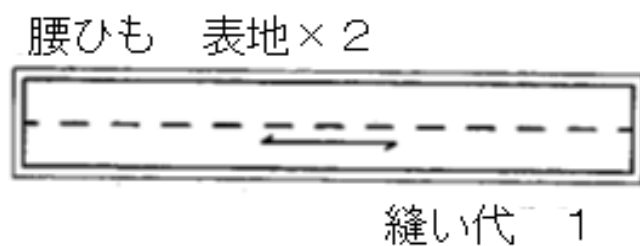
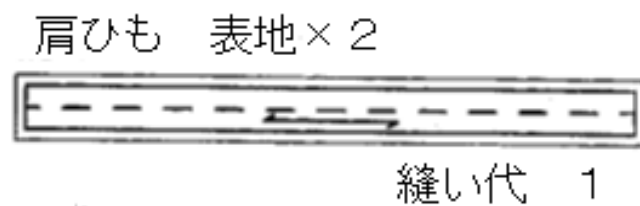
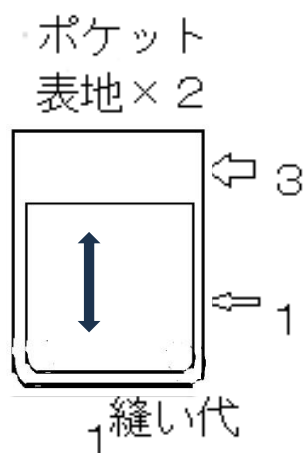
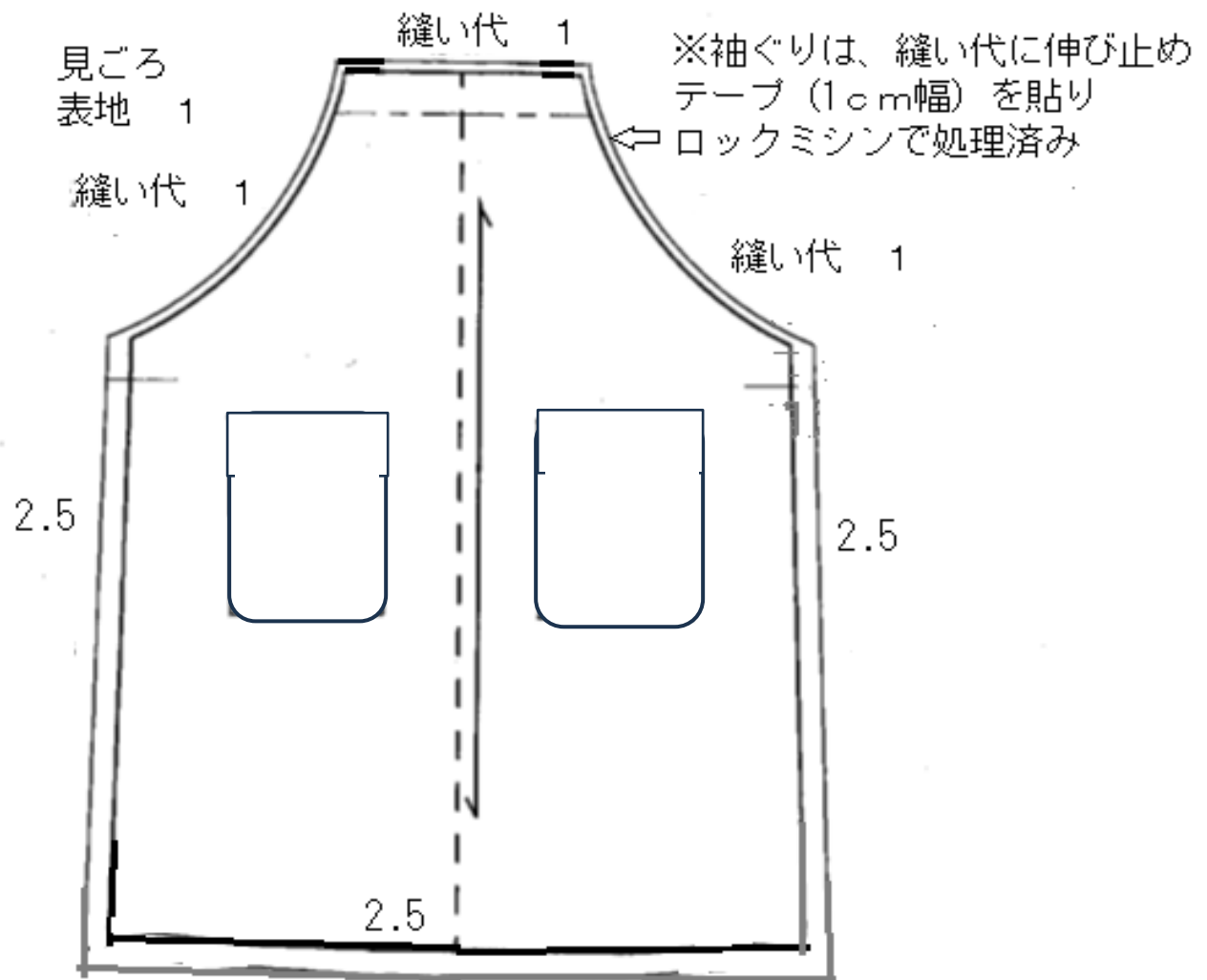
エプロン ぎのうきょうぎたいかいかいだいせいず
(技能競技大会課題製図)



すうじたんい
数字単位 cm

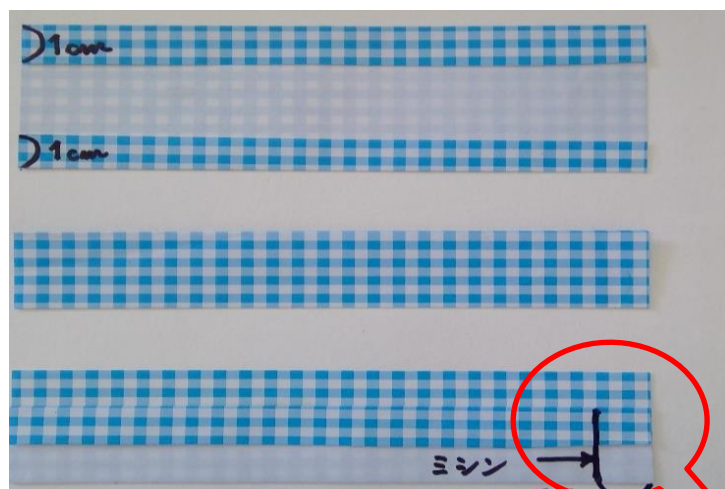
エプロン (技能競技大会課題 縫い代)

*配布される表地はこの寸法で裁断、処理されています。



さんこうしりょう
参考資料

① ひもづくり (きれいに仕上げる一つの方法です。)



じょうき
上記③の詳しい説明

かくだいず
拡大図

②の広げ方は一方の端を中表に、
10cmほどひっくり返し 右図のように、
片方は広げ、片方は折り布端から1cmの
ところを縫う。

ミシンのところで折り、アイロンをかけ、
ひもの角をしっかりと出して、形を整える。

※ 角はきれいに

目打ちで出す。



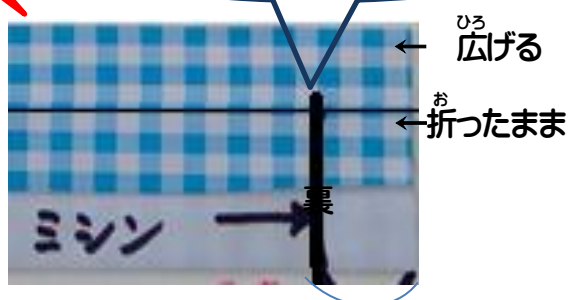
※ できあがりの寸法をそれぞれ確認し、角は90° になっていることを確認すること

さんこう
参考にしてください)

こし 腰ひも、かた 肩ひもどちらも同じ

- ① 裏を上向きにし、長辺
両端 1cm アイロンで折る。
- ② ①を外表に半分に
アイロンで折る。
- ③ ②を広げ、表を中にして
端から 1cm のところにミシン。

ひとめした おもて かえ ん
一目下に落として返し縫い



1cm

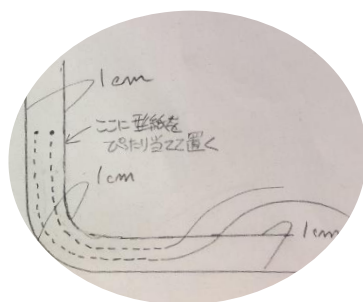
④ ステッチをかける。

(ステッチは、「製作工程」

ひもづくりの図 参照)

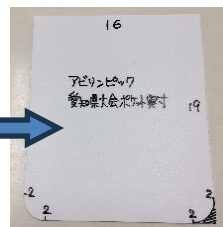
②ポケットのカーブ (きれいに仕上げる一つの方法です。 参考にしてください)

・できあがりの大きさを、厚紙で型紙をつくります。



(アイロンをかけるので溶けない厚紙がよい。)

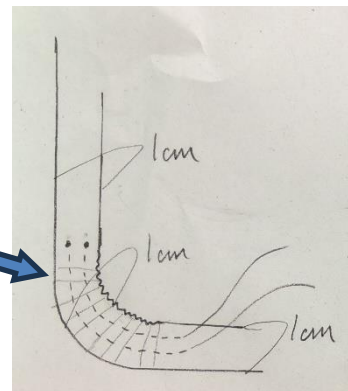
(1) 1cmの縫い代に、カーブのところに2本細かなみ縫いをします。片方は玉止めで固定し、もう片方は長めに糸を残します。



(2) 厚紙を出来上がり線にあて、それに沿うように糸を一緒にひっぱり、カーブの形を整えます。



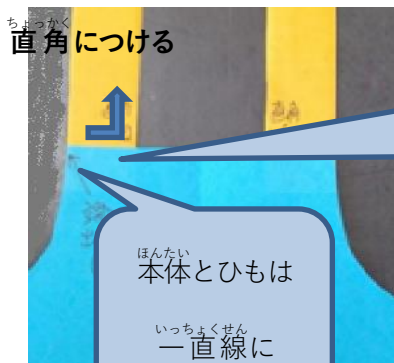
(3) 厚紙をあてたまま、アイロンの先で形を整えます。



③ひも付け (ひもをつけるところに、多くの注意点があります)

肩ひも付けの注意点

見返しとひもがつき、
表にかえたとき



ひもはまっすぐに本体からでているか。

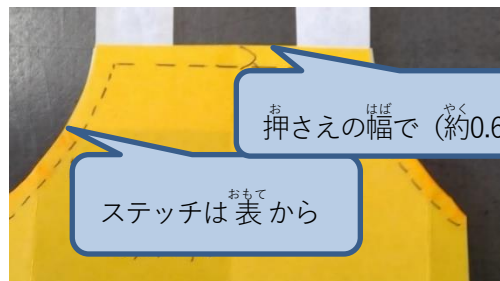
本体とひもは
一直線に

ステッチをかける前に、袖ぐりにしわなどなく、きちんと落ち着いているかを確認する。

突っ張りやしわがあるときは、裏側の伸び止め

テープのところを、つまんで少し伸ばして落ち着かせる。

(伸ばし過ぎは戻らないので注意)

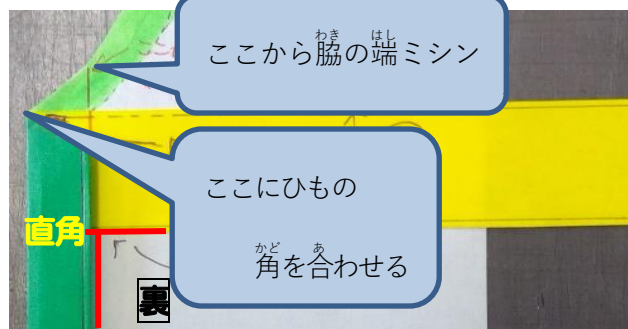


おさえの幅で (約0.6cm)

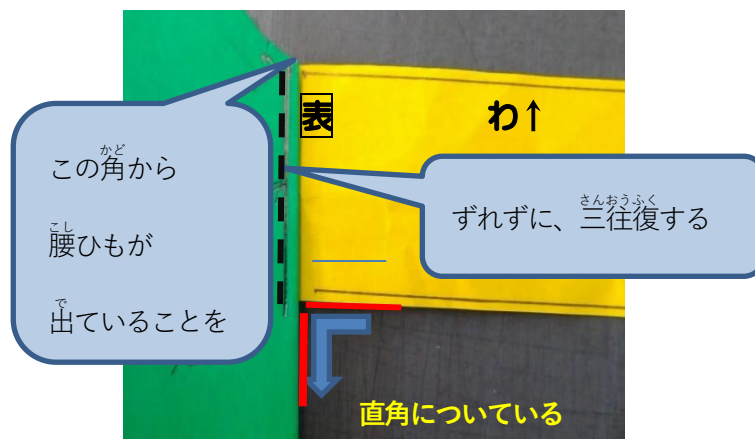
ステッチは表から

こし つ ちゅういてん 腰ひも付けの注意点

こし わき
腰ひもを脇にはさんだときに
き
気をつけること



おもて む ととの あと
ひもを表に向けて、アイロンで整えた後
おもて
表からもひもがまっすぐついているかを
かくにん
確認して、ステッチをかける。



* 「参考資料」は、さんこうしりょう か だい せいさくてじゆん さくせい かつよう
「参考資料」は、課題を製作手順にそって作成するときご活用ください。